

Gard Insight

海上での救急医療 – 遠隔医療は解決策になるか

こちらは、英文記事「[Emergency medical care at sea - is Telemedicine the answer?](#)」（2015年12月16日付）の和訳です。

通信技術の発達に伴い、海上における乗客や乗組員に対する治療の要求水準が高まっています。事遠隔医療支援サービスの利用しやすさが向上しつつある中、緊急事態対応の不可欠な要素であるとみなされます。

遠隔医療とは何か

海事遠隔医療支援サービス（TMAS）、別名 RADIOMEDICO サービスは、乗組員や乗客に対し遠隔地の医療専門家が助言を提供するものです。従来は無線が使われていましたが、現在では衛星やインターネットなどのより高度な通信デバイスが活用されることが多くなり、医療提供者とのやりとりを音声だけではなく映像でも行えるようになりました。TMAS を介して、船上や海洋施設など、陸上での治療が行えない場所でも病人やけが人の診断・治療の支援が受けられるようになっているのです。迅速かつ有効な治療が行えるかどうか、生死（あるいは後遺症の有無）を分ける要因なのです。



国際基準

国際労働機関の海上労働条約（ILO/MLC）および国際海事機関の2010年マニラ改正船員の訓練、資格証明及び当直の基準に関する国際条約（IMO/STCW）の施行以降、遠隔医療の使用が強く求められるようになってきました。2012年1月1日から、外航船および旗国には、「乗組員が陸上にいれば受けられたであろう治療レベルに可能な限り近づけた医療を提供」し、「事前に準備したシステムを通じて、昼夜を問わず、無線または衛星通信を介して医療に関する助言を受けられるようにする」ことが義務づけられています。TMASの提供状況は旗国ごとにばらばらです。提供されていない場合は、国がMRCC（海事救援調整センター）経由で提供するTMASや、雇用主が手配する民間事業者による緊急事態支援、遠隔医療支援を利用することになります。

長所と短所

TMASの利用は、船主や雇用主に以下のような利点をもたらします。

- ・ 離路や、危険が伴う緊急避難の回数を減らせる
- ・ 入港してすぐに治療を要する乗組員等の人数を減らせる
- ・ 高度な医療サービスの提供が乗組員らの士気向上につながる
- ・ 病気やけがに伴う時間のロスを減らせる

最近、乗組員1名が航海中に急病を患って死亡したケースが発生しました。その船の船長は、このまま航海を継続しては他の乗組員が安心できないだろうから、予定の航路を変更して最寄りの港に2日間ほど寄港し、医療機関から死亡確認を受ける必要があるだろうと考えました。しかし、TMASに連絡したところ、死亡原因が特定され、感染等の危険性がないことが確認できたのです。その結果、離路せずに済み、乗組員も安心して、計画どおりに運航を終えることができたようです。

とはいえ、遠隔医療プロバイダーの利用には以下のような大きなリスクも伴います。

- ・ 高度な電子機器の使用には十分な訓練が必要である。機器の誤用や取扱いミスは極めて深刻な事態を招くおそれがある。
- ・ 医師が海に関する特別な訓練や経験を積んでいない可能性がある。
- ・ 病人・けが人が言語の違いから、医療従事者とうまくコミュニケーションが取れない可能性がある。
- ・ 多くの国では個人の医療記録や病状に関する情報の共有を制限している。そのため、患者の明示的な許可なく TMAS サービスを利用すると、違法とみなされる可能性がある。

また、民間の TMAS プロバイダーと契約するには高額な費用がかかる可能性があり、それが平常時の運航コストの上昇要因となる可能性があることにも留意が必要です。

遠隔医療はどこで利用できるか

TMAS サービスには公営のものと民間のものがあります。

公営の TMAS サービスは世界中、無料で利用できます。多くの国ではすべての船舶にアクセスを提供していますが、一部には自国を旗国とする船舶を対象を限定している国にもあります。公営サービスの中でも歴史が古く、おそらく最も有名なのは国際海事無線会議 ([CIRM](#)) です。CIRM はローマに拠点を置き、1935 年以來 24 時間サービスを提供しています。公営プロバイダーの一覧は[こちら](#)をご覧ください。

最近 10 年間で民間 TMAS サービスの提供者数が大幅に増加し、内容面や料金面での競争が進み、多様なサービスや料金プランが用意されるようになりました。民間の TMAS プロバイダーの中には、最先端の医療診断ツールなど、高度な医療機能を提供するところもあります。こうしたツールを訓練を受けた乗組員が適切に使用すると、病人・けが人の予後改善の可能性を高めます。Gard は、民間 TMAS サービスの通常の加入料金や会費については担保していません。これらは船主の責任による運営費とみなされるためです。しかし、病気、けが、死亡に関連して生じる特別な追加費用については、[約款第 27 条](#)に基づき担保される場合があります。これは乗客についても、[約款第 28 条](#)に従って適用されます。

まとめ

遠隔医療は、船を安全かつ効率的に運航するための重要なツールになりつつあります。（多くの国において）サービスは 24 時間無料で利用できます。民間の TMAS サービスもあり、その多くが高度なサービスを提供しています。費用が高額な場合もありますが、離路した場合のコストなどに比べれば少額で済む可能性があります。

この記事の評価にご協力ください。この記事がどの程度役に立ったかを右の星印をクリックしてお知らせください。

この Gard Insight の記事に関する質問やご意見は、[Gard Editorial Team](#) まで電子メールでお送りください。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。